



「阿弥陀如来はどんな仏さま？」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。この夏も日本に居ながらにしてインドのお釈迦さまの気分が味わえて、有り難いことです。お釈迦さまも暑かっただろうなあと汗まみれで思っています。

門信徒のみなさまのおかげをもちまして、去る7月26日に永代経ならびに前任職一周忌を厳修させていただくことができました。厳しい暑さの中、お参りくださった門信徒のみなさま、ほんとうにようこそでした。みなさまのご先祖、前任職の一周忌をご縁に南無阿弥陀仏のみ教えに出遇っていただけたこと、共に喜ばせていただきたいと思います。阿弥陀仏によってしか救われることのない罪悪深重・煩惱具足の私たちです。まだ早い、忙しいと仏法を聴かずに、大きな病を得てから「こんなはずじゃなかった」と嘆くよりも、どんなことが我が身に起きてても、『如来さまからの（仏法に遇うてくれよとの）

永代経・一周忌が厳修されました。
ようこそそのお参りでございました。

厳しいご催促であつた』と顕らかに受け止められる人生を恵まれて生きることが肝要かと存じます。お念仏を申して生きるとはそういうことなんだと私は思います。

また、このたびお参りくださったご門徒のみなさまはもちろん、ご都合でお参りいただけなかったご門徒のみなさま、さらに、ご門徒以外の（他門徒の）みなさまからも、過分なお蠟燭代・ご仏前をお供えいただきました。本当に有り難うございます。みなさまにご理解いただくために失礼を承知で書きますが、それでも永代経・一周忌にかかりました経費には及ばないのが現実です。でも、おかげさまでいつもみなさまからお預かりしておりますご法札やお布施でまかなわせていただいております（ご門徒のみなさまにお願いしております護持会費は使っておりません）。他県の友人僧侶からの情報では、過疎の地区のお寺では、法要をすると赤字になるので、法要を止めた！とか、法話（お説教）をなくしてビデオ上映（または単なる茶話会）にした！などの話も聞いております。西光寺ではそんなことにならないよう、みな

さまからお預かりした浄財を無駄にせず、儉約しながら寺の運営をして参りたいと思っております。

さて、これはある先生からお聴きしたお話です。ひろさちやさんという宗教評論家をご存知でしょうか。東京大学で印度哲学と仏教学を学ばれ、気象大学で教鞭をとる傍ら多数の執筆をされました。彼が学生たちに『阿弥陀仏とはどんな仏か』を教えるために、クイズ形式の質問をしたそうです。みなさまも挑戦してみてください。

あなたは癌になりました。阿弥陀仏はどうされるでしょうか？次のア、エの4つの中からひとつ選びなさい。（答はこの裏に）

- ア. 阿弥陀仏は癌を治すことができない。
 - イ. 阿弥陀仏は癌を治すことができる。
ただし、気に入った人だけ。
 - ウ. 阿弥陀仏は癌を治すことができる。
ただし、熱心にお願した人だけ。
 - エ. 阿弥陀仏は癌を治すことができる。
でも、治さない。
- なぜなら、治すと医者困るから。

どうでしたか？悩まれました？それともあつさり答えがわかりましたか？では、解説をしていきましよう。

まず、アですが、阿弥陀仏のお徳は、『不可称不可説不可思議』とお聞きしております。『称えつくすことも、説きつくすこともできない。私たちのほからいをはるかに超えている』のです。阿弥陀仏が癌を治せないと決めつけることはできません。仏智不思議を疑うことは、もつとも悪だと言われている。よつてアは間違いです。イヤウはどうでしょう。これもおかしいですよ。ね。気に入った人だけ、熱心にお願した人だけ助けるのなら、全てを救うと誓われた意味がありません。それは偽の宗教と言つてもいいでしょう。そうなんです、答えはエでした。もし阿弥陀仏が癌を治したら、お医者さんも製薬会社もつぶれます。阿弥陀仏は諸法平等の仏さまで。一方を救い、一方を救わないというのではないのです。あらゆるものごとに対して平等なので、阿弥陀仏のことを『平等覚』とも呼びびします。正信偈のあとのご和讃に、『解脱の光輪きはもなし光触かふるものはみな 有無をはなるとのべたまふ 平等覚に帰命せよ』とあります。阿弥陀如来の至らぬところのない智慧の光明をいただく私たちは、さまざまな執着を離れ、平等に浄土に生まれる種をいただくので

す。この阿弥陀如来を依りどころにし、共々にお念仏の日々を送りたいものです。

申し遅れましたが、一周忌のときには、お齋をご門徒の『やまに水産』さまにお願いしました。美味しいお弁当を有り難うございました。また、ご門徒の大嶋郁子さんには玄関、講師室、法中控室と三カ所もステキな生花を活けていただきました。その他、いろいろとお手伝いいただきましたご門徒さまに、心より感謝申し上げます。有り難うございました。永代経の御膳米（御仏供米）も有り難うございました。ようやく袋ができましたので、来年からはご案内に同封させていただきます。

「CD無料で送ります！」

このたびの前住職一周忌の記念法話（奥田順誓先生）をCDにしました。お参りしたくても事情で、または遠くにお参りできなかった方で「ぜひ聴聞したい」という方にCDをお送りいたします。お気軽にお電話またはメールでお申し込みください。また、以前に三国の門信徒さまに配布した『仏説阿弥陀経（私の声ですが）』のCDもご用意できます。また、一昨年NHKのラジオドラマに出演した時のCDもあります。福井が舞台ですから興味深く聴いてもらえるかと思えます。全部でもいいですよ。喜んで送らせていただきます。

「西別院での研修会のご案内」

本願寺派の社会福祉推進協議会の研修会が今月27日（木）の午後一時三十分より『認知症』をテーマに開催されます。また、真宗教団連合の講演会（ご講師・天岸浄圓先生）『親鸞聖人のお手紙をいただく』が9月5日（土）の午後二時より開催されます。どなたでも参加できます。私も参加しますので、参加したい方は私の車で一緒にいたしましょう。参加希望の方はお電話でお知らせください。

「食前・食後のことばを！」

またまた本山から食前・食後のことばのながきを送っていただきました。最近は無言で食べ始め、黙って食べ終わる人も増えていきます。他の命をいただいて生きる私たちです。同封しましたので、食卓に置いてご家族みんなでご唱和ください。

※来寺のお約束や、お参りの変更など、重要なことは必ず住職の携帯にご連絡下さい。出られなければ留守電に入れてください。こちらからご連絡いたします。

内嶋淳浩 090-8967-7902

メールアドレス

soichiro4989@gmail.com